

Panasonic

NSBレシーバー

品番 R-HT1

取扱説明書



このたびは、NSBレシーバーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

■保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

上手に使うって上手に節約

保証書別添付

付属品

- モノラルインサイドホン
- 単4形乾電池(R03) 2本
- キャリングケース

定格

受信周波数：NSB：3925-3945kHz
6055-6115kHz
9595-9760kHz

スピーカー：3.6cm 丸形、8Ω

出力端子：イヤホン(16Ω)

実用最大出力：(スピーカー時) 100mW(EIAJ)

電源：DC3V(単4形乾電池“R03/LR03”2本使用)

最大外形寸法：59.7(W)×103.5(H)×18.8(D)mm(EIAJ)

重量：約103g(乾電池含む)

電池持続時間(EIAJ/ナショナルネオ《黒》乾電池(R03)使用時)

スピーカー時：約20時間

イヤホン時：約47時間

★この定格は性能向上のため変更することがあります。

便利メモ(おぼえのために、記入されると便利です)

お買い上げ日	年 月 日	品番	R-HT1
販売店名		電話()	-
お近所の相談センター		電話()	-

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎(06) 909-1021

Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. Audio Division

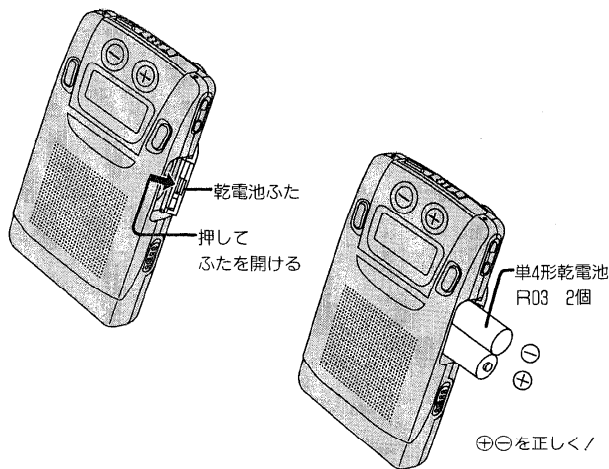
1-4 Matsuo-cho, Kadoma City, Osaka, Japan 571 ☎(06) 909-1021

RQT2593-1S
F0394N1044

電源

乾電池の入れかた

単4形乾電池2本で使用できます。



- 乾電池を入れる途中で、操作ボタンは押さないでください。(表示や動作が正常に働かないことがあります。)
- 乾電池を入れると、“U01”が15秒間表示された後“AM12:00”表示になります。(時計の合わせ方は、裏面をご参照ください。)
- “U01”表示中に乾電池を取替えると、時計を合わせ直す必要はありません。

乾電池使用上のご注意

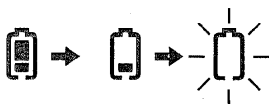
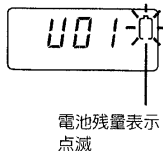
乾電池は使い方を誤ると破裂や破損、液漏れの恐れがあります。次のことは必ずお守りください。

- 同じ種類の乾電池を使用してください。
- 新しい乾電池と使用した乾電池は混用しないでください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 火の中への投入や、ショート(短絡)、分解、加熱などはしないでください。
- 乾電池は充電式ではありません。

電池の交換時期

電池残量表示で電池の消耗を確認できます。表示が点滅し始めたら電池が消耗していますので、電池を交換してください。また、電源が切れ“U01”表示になる場合も電池が消耗していますので交換してください。

- 本機では、メモリー保護のため、乾電池の容量がわずかに残った時点を寿命としています。



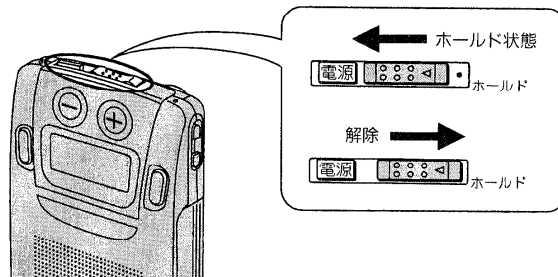
操作の前に

誤操作を防ぐには

ホールド切替つまみをホールド状態の方向へ切り換えると、本体のボタンが保持状態となり、押しても操作できなくなります。誤操作や誤操作による乾電池の消耗を防ぐことができます。

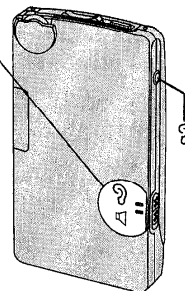
操作するときはホールドを解除してください。

ホールド状態のときは、ディスプレイに“ホールド”が表示されます。



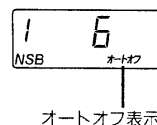
インサイドホン/スピーカーの切換

- 📞 ……インサイドホンで聞くととき
 - 付属のインサイドホン
 - 📞 端子に接続してください。
- 🔊 ……スピーカーで聞くととき



オートパワーオフ機能について

本機は、乾電池の節約のため電源を入れて90分経つと自動的に電源が切れます(オートパワーオフ機能)。続けてお使いになりたい場合は、もう一度電源を入れてください。この機能を解除し連続してお使いになりたい方は、電源入の状態でもオートオフボタンを押して、“オートオフ”表示を消灯させてください。同じ操作でオートパワーオフの復帰/解除ができます。



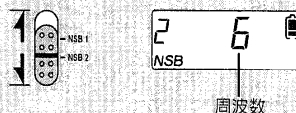
ラジオを聞く

本機はラジオたんぱ(NSB)専用です。
NSB1またはNSB2の放送を聞くことができます。

1 電源を入れる

3 好みの音量にする

2 聞きたい放送を選ぶ
(NSB1またはNSB2)

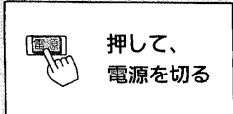


受信状態のよい周波数が自動的に選択されます。

ご注意

受信電波が弱かったり、放送がないときは、「3」→「6」→「9」の表示を2回繰り返したのち、前回聞いていた周波数で止まります。

■使用後は



短波放送について

短波放送は、使用する電波の性質上、季節や天候、場所などによって、受信状態が大きく左右されます。
NSB(ラジオたんぱ)では、安定した放送をするため、同時に3種類の周波数を使って同じ放送を行っています。(3、6、9MHz)
最もよく聞こえる周波数を選ぶのが上手な聞き方です。

自動周波数選択について

3MHz、6MHz、9MHzの中から、最もよく聞こえる周波数を自動的に選択する機能です。次のどの操作をしても、自動選択機能が働きます。



電源を入れる



ラジオ受信中にNSB1/
NSB2を切り換える



⊕または⊖ボタンを0.5秒以上押す

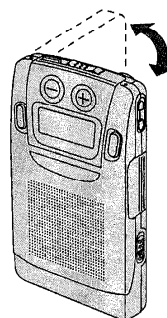
■手で周波数を切り換えるには

⊕、⊖ボタンをポンポンと押す。

よりよい受信のために

最もよく聞こえるように、本機の向きをかえてください。

●内蔵のフェライトバーアンテナが働きます。

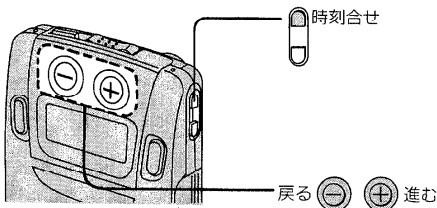


ご参考

乗物や建物の中などでは、電波が届きにくいので放送が聞こえにくくなったり、聞こえないことがあります。できるだけ窓ぎわでお聞きください。

時計を合わせる

準備 電源を切る



ご参考

- 本機は12時間表示です。
“AM(午前)12:00”は深夜、“PM(午後)12:00”は正午です。
- 時計精度は室温において月差約1分です。

例：午前10時20分に合わせる

1 1秒以上押す

時表示点滅

2 時表示が点滅している間 (10秒以内)に “時”を合わせる

3 押す

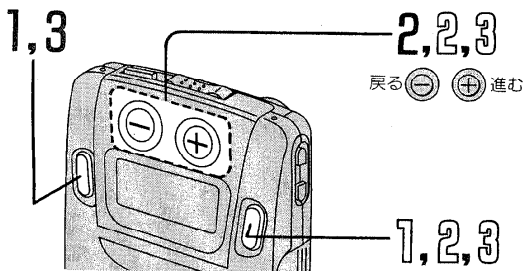
分表示点滅

4 “分”を合わせる

5 押す
時計がスタートします。

コロム点滅

アラーム/タイマーを使う



乗り越し防止アラームを設定

何分後にアラームを鳴らすかを1~180分 (1分間隔) の間で設定できます。

準備 アラーム表示 (●●●) の消灯を確認する

1 1秒以上押す

アラーム表示点滅

2 アラーム表示が点滅している間 (10秒以内)に 時間を合わせる

3 押す
アラームが設定されもとの表示にもどります

(設定した時間がたつと、アラームが3分間鳴ります。)

アラーム音を止めるには

どのボタンを押しても止まります。
(ホールド状態のときも、操作できます。)

タイマーを設定

設定した時刻になると電源が入り (“⊙”表示が点滅)、約90分で自動的に電源が切れます。

準備 1. “⊙”表示の消灯を確認する 2. 現在時刻を確認する 3. 聞きたい放送(NSB1/NSB2)に切り換える。

1 時表示が点滅するまで1秒以上押す

タイマー表示

2 時表示が点滅している間 (10秒以内)に “時”を合わせ

押す

3 分表示が点滅している間 (10秒以内)に “分”を合わせる

押す
タイマーが設定されます
設定後は電源を切ってください。

アラーム/タイマー状態を解除するには

乗り越し防止アラームの時は } を押し、表示を消灯させます。
●●● ……アラームボタン

タイマーの時は }
⊙ ……タイマーボタン

毎日お使いになるときは

一度設定した時間は、変えるまで記憶しています。
次回からは、

乗り越し防止アラームの時は } を押し、表示を点灯させます。
●●● ……アラームボタン

タイマーの時は }
⊙ ……タイマーボタン

各部のなまえ

